

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年5月10日(2012.5.10)

【公開番号】特開2009-291595(P2009-291595A)

【公開日】平成21年12月17日(2009.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2009-050

【出願番号】特願2009-87600(P2009-87600)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/16 (2006.01)

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/16

A 6 1 B 3/10 U

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月19日(2012.3.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検眼に対して超音波を入射させるための振動子と、被検眼からの反射波を検出する振動検出センサと、を有する探触子と、

前記振動子から発せられる入射波と前記振動検出センサによって検出される反射波とを比較し演算処理により被検眼の眼圧を測定する演算部と、

被検眼に対する前記探触子のアライメント状態を検出するアライメント検出手段と、

前記アライメント検出手段の検出結果に基づいてアライメント状態の適否を判定するアライメント判定手段と、

前記アライメント判定手段の判定結果に基づいて測定開始のトリガ信号を発するトリガ信号発生手段と、

該トリガ信号の発生に基づいて前記探触子により超音波を被検眼に向けて出射する制御手段と、を備えることを特徴とする非接触式超音波眼圧計。

【請求項2】

請求項1の非接触式超音波眼圧計において、

前記振動子は超音波パルスを出射する振動子であって、前記振動検出センサは被検眼に入射された超音波パルスによる反射波を検出する振動検出センサであって、

前記制御手段は、該トリガ信号の発生に基づいて、被検眼の脈動による被検眼眼圧の変動情報が得られるように前記探触子により超音波パルスを連続的に被検眼に向けて出射し、

前記演算部は、連続的に出射される各超音波パルスに対応する演算処理を行うことを特徴する非接触式超音波眼圧計。

【請求項3】

請求項1又は2の非接触式超音波眼圧計において、

メモリと、モニタと、を備え、

前記制御手段は、出射された各超音波パルスによる反射波に対応する眼圧を求め、得られた各眼圧値を測定タイミングと関連付けて前記メモリに記憶させ、前記メモリに記憶されたデータに基づいて眼圧の経時的な変化を示す眼圧グラフを眼圧値と共に前記モニタに

表示させることを特徴とする非接触式超音波眼圧計。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれかの非接触式超音波眼圧計において、  
前記制御手段は、前記探触子からの出力信号に基づいて被検者眼の脈動周期を検出し、  
検出された脈動周期に同期して前記探触子から超音波パルスを連続的に出射させることを  
特徴とする非接触式超音波眼圧計。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

(1) 被検眼に対して超音波を入射させるための振動子と、被検眼からの反射波を検出する振動検出センサと、を有する探触子と、前記振動子から発せられる入射波と前記振動検出センサによって検出される反射波とを比較し演算処理により被検眼の眼圧を測定する演算部と、被検眼に対する前記探触子のアライメント状態を検出するアライメント検出手段と、前記アライメント検出手段の検出結果に基づいてアライメント状態の適否を判定するアライメント判定手段と、前記アライメント判定手段の判定結果に基づいて測定開始のトリガ信号を発するトリガ信号発生手段と、該トリガ信号の発生に基づいて前記探触子により超音波を被検眼に向けて出射する制御手段と、を備えることを特徴とする。

(2) (1)の非接触式超音波眼圧計において、前記振動子は超音波パルスを出射する振動子であって、前記振動検出センサは被検眼に入射された超音波パルスによる反射波を検出する振動検出センサであって、前記制御手段は、該トリガ信号の発生に基づいて、被検眼の脈動による被検眼眼圧の変動情報を得られるように前記探触子により超音波パルスを連続的に被検眼に向けて出射し、前記演算部は、連続的に出射される各超音波パルスに対応する演算処理を行うことを特徴する。

(3) (1)又は(2)の非接触式超音波眼圧計において、メモリと、モニタと、を備え、前記制御手段は、出射された各超音波パルスによる反射波に対応する眼圧を求め、得られた各眼圧値を測定タイミングと関連付けて前記メモリに記憶させ、前記メモリに記憶されたデータに基づいて眼圧の経時的な変化を示す眼圧グラフを眼圧値と共に前記モニタに表示させることを特徴とする。

(4) (1)~(3)のいずれかの非接触式超音波眼圧計において、前記制御手段は、前記探触子からの出力信号に基づいて被検者眼の脈動周期を検出し、検出された脈動周期に同期して前記探触子から超音波パルスを連続的に出射させることを特徴とする。